

環境配慮型不動産事業

環境性能の高い不動産開発、施設運営における環境負荷低減に取り組んでいます。

■ 物流施設

多くの企業が環境負荷低減の課題を抱えるなか、物流施設にテナントとして入居する企業からの省エネルギー対応へのニーズは、ますます高まっています。オリックスは、太陽光発電システムの導入や外構緑化などに取り組んでおり、「枚方ロジスティクスセンター（2015年）」、「守谷ロジスティクスセンター（2016年）」、「市川塩浜ロジスティクスセンター（2016年）」は、いずれも「CASBEE*」A評価を取得しています。



「守谷ロジスティクスセンター」

※ 建築環境総合性能評価システムのことで、建築物の環境性能を客観的にランクづけするシステム。()内はいずれも竣工年。

■ 完全人工光型植物工場

兵庫県養父市から廃校となった小学校を賃借し、体育館内に完全人工光型植物工場*を建設、運営し、リーフレタスなど3種類を栽培・販売しています。外気を遮断しているため、無農薬栽培が可能。異物混入のリスクや季節や天候などの影響を受けにくく、連作障害の心配がないことから、多段(8段)栽培により高効率で安定的な生産ができ、1日あたり約3,000株、年間約100万株(80トン)の生産体制を目指しています。



「養父レタス工場」

※ 人工光を使用し、無菌に近い状態で栽培を行う工場。季節や天候などに左右されにくく、安定的に無農薬栽培が可能。植物工場は、設備方式により「完全人工光型」と「太陽光利用型」の2種類に大別される。

■ 京セラドーム大阪

雨水を再利用し、トイレや植栽灌水に使用しています。また、海風を利用し、アリーナの自然換気を行う自然換気方式を採用しています。



■ ゴルフ場

環境負荷の少ないゴルフ場の運営を目指し、空調・給湯設備やナイター設備の更新、照明のLED化など、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。また、ゴルフ場で採取される刈草の堆肥化を行い、場内の植栽などに利用しているほか、「ディアレイク・カントリー倶楽部」(栃木県鹿沼市)では遊休地を活用し、メガソーラーを建設したり、「比良ゴルフ倶楽部」(滋賀県大津市)ではクラブハウスや駐車場の屋根にソーラーパネルを設置しています。



ディアレイク・カントリー倶楽部

■ オフィスビル

オリックスグループの大阪本社ビル「オリックス本町ビル」(大阪府大阪市)は、旧建物の躯体の再利用をはじめ、建築段階から省エネ・省CO₂に貢献する環境負荷低減技術を採用しています。外構部や屋上での高木緑化や太陽光発電システム、ヒートポンプ式ビルマルチエアコン、LEDなどを導入し、「CASBEE大阪」S認証(最高ランク)を取得。一部の技術は環境省の「クールシティ中枢街区パイロット事業」にも認定されています。



「オリックス本町ビル」

■ 水族館(新江ノ島水族館、京都水族館、すみだ水族館)

オリックス不動産は、2004年より神奈川県とのPFI事業として新江ノ島水族館*の運営に携わっており、2012年には直営の京都水族館、すみだ水族館をオープンしました。レジャースポットとして街づくりに貢献するだけでなく、施設、事業運営そのものにもさまざまな環境配慮を行いながら、エデュケーション(教育)とエンターテインメント(娯楽)を融合させた「エデュテインメント型的水族館」として、お客さまに環境学習の場をご提供します。



人工海水を利用した京都水族館の大水槽

※ オリックスグループならびに株式会社江ノ島マリンコーポレーションなどによる共同事業。

■ オリックス劇場

旧大阪厚生年金会館の伝統的な建物外観を保存しながら、多目的ホールとしてリノベーションし運営しています。また、太陽光発電システムも設置しています。

